

## 「聖書の教える人間とは」

今朝は、私たち人間とは、どのような者かを聖書から考えてみましょう。

神様のみことばである聖書は、「人間は、神によって、神のかたちに造られた」（創世記 1:26-28）と教えています。しかも「わらわれのかたち（三位一体の神のかたち）にと教えています。そのことを、もう少し詳しく見ていきましょう。「神のかたちに造られた」ということは、次の三つのことであることが分かります。

1. 神のものを管理する（創世記 1:26.28）
2. 愛する（創世記 1:27）
3. 神を知り、神と交わる（創世記 2:16）

### 1. すべてのものを支配させよう（26.28） 管理する人間

神は神の栄光のために、人間にすべてのものの支配を委ねられました。ですから人間には知性、能力が備えられています。

**（1）働くことは、神のみこころである（男性も女性も）。**

「また、私たちが命じたように、落ち着いた生活をするを志し、自分の仕事に身を入れ、自分の手で働きなさい」（1テサ 4:11）

**（2）働くことによって、神の祝福が得られる。**

「あなたは、自分の手の勤労の実を食べる時、幸福で、しあわせであろう」（詩篇 128:2）

**（3）罪の結果、労働は苦しみに**

「あなたは、顔に汗を流して糧を得、ついに、あなたは土に帰る」（創世記 3:17-19）

**（4）貧しさの原因**

「怠け者よ。いつまで寝ているのか。いつ目を覚まして起きるのか。しばらく

く眠り、しばらくまどろみ。しばらく手をこまねいて、また休む。だから、あなたの貧しさは浮浪者のように、あなたの貧しさは横着な者のようになってくる」(箴言 6:9-11)

## (5) 働けない人への配慮

「あなた方の土地の収穫を刈り入れるときは、畑の隅々まで刈ってはならない。あなたの収穫の落穂を集めてはならない。またあなたのぶどう畑の実を取り尽くしてはならない。貧しい者と在留異国人のために、それらを残しておかねばならない。わたしはあなたの神、主である」(レビ記 19:9-10)

## 2. 愛する (27) 家族を作る人間

神は、愛である (1ヨハネ 4:16)

神は、人を男と女に造られた。

(1) **結婚は、神の定めた制度である**「神である主は仰せられた。『人が、ひとりであるのは良くない。わたしは彼のために、彼にふさわしい助けてを造ろう』(創世記 2:18)。

(2) **主イエスは、結婚を重んじられた。**「イエスは答えて言われた。『創造者は、初めから人を男と女に造って、それゆえ、人は父と母を離れ、その妻と結ばれ、一体となると言われたのです』」(マタイ 19:3-12)。

(3) **教会は、結婚を重んじてきた。**「結婚がすべての人に尊ばれるようになさい」(ヘブル 13:4)

(4) **独身も神の賜物である。**「母の胎内から、そのように生まれついた独身者がいます。また人から独身者にさせられた者もいます。また、天国のために、自分から独身者になった者もいるからです」

生まれつき 人から (死別、離婚) 天国のために

(5) **結婚の目的は、神が人間を造られた目的を達成するため**

管理すること

愛すること

(6) 結婚の本質は、「ふさわしい助け手」となること。

(7) 夫婦の関係は、祝福された家庭の土台である。

夫婦関係は、親子関係に優先する。家庭は、仕事に優先する。

### 3. 神を知り、神と交わる (2:16) 神を知り、神に従う人間

(1) 神を知り、神と交わるように造られた。

永遠を思う心。「神はまた、人の心に永遠を与えられた」(伝道者3:11)

心に書かれた神のことば。「彼らはこのようにして、律法の命じる行いが彼らの心に書かれていることを示しているのです」(ロマ 2:14-15)

**神のことばを聞くことができる**

**直接に**

**自然を通して**「神について知られることは、彼らに明らかです。それは神が明らかにされたのです」(ロマ 1:18以下)

**預言者を通して**「神は、むかし父祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、またいろいろな方法で語られました」(ヘブル 1:1)

**御子イエス・キリストを通して**「この終わりの時には、御子によって私たちに語られました」(ヘブル 1:2)

(2) 神との交わりがもたらすもの

**力** 「救い、栄光、力は神のもの」(黙示録19:1)

**喜び、平安** 「それゆえ、私の心は喜び、私のたましいは楽しんでいる。

私の身もまた安らかに住まおう」(詩篇 16:8-9)

**祝福** 「神はキリストにあって、天にあるすべての霊的祝福をもって私たちを祝福してくださいました」(エペソ 1:3)

(3) 神との交わりを断った人間(創世記3章)

神のことばを聞くことは出来る。

自分の罪で苦しむ。

神と交わる力を失う。

#### **(4) 神に救いを与えられる人間**

アダムへの約束とアダムの保護 (創世記 3:15、21-22)

アブラハムの選びとアブラハムへの約束 (創世記 12:1-3)

律法による保護

預言者による救い主到来の預言 (イザヤ 7:14 9:6ほか)

御子イエス・キリストによる救いの完成

聖霊降臨による救いの実行

信仰による救い (エペソ 1:8)

#### **(5) 神の救いを受ける人間**

義とされる (罪を赦される)

神の子どもとなる

永遠のいのちを受ける

キリストのからだである教会に加えられる

#### **まとめ**

聖書の教える人間は、「管理する」「愛する」「神を礼拝する」という三つのつとめを持つ者として造られました。この三つの分野でバランスを持って生きることを求められており、その結果が幸せということになります。